

2016 年度 東北大学 大学教員準備プログラム
Tohoku U. PFFP
ショートコース
(院生・ポスドク対象)

1. 目的

東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku University Preparing Future Faculty Program, Tohoku U. PFFP)は、大学教員を目指す全国の大学院博士課程後期の学生や、ポストドクトラルフェロー、専門研究員等を対象に、大学教員に求められる能力を実践的に学ぶ機会の提供を目的としています。

Tohoku U. PFFP では、大学教員の仕事について総合的に学ぶ〈フルコース〉と、まずは教育実践について短期間で学びたい人のための〈ショートコース〉を提供しています。ショートコースでは、教授・学習に関するセミナーやシラバス作成に関するワークショップ、授業参観を中心に、自身の教育観、大学教育について考える視野を身につけます。

本プログラムは一部、新任教員を対象とした東北大学 新任教員プログラム (Tohoku U. NFP) と合同で実施します。

2. 達成目標

参加者は次のことが出来るようになることを目指します。

- 比較の視点を持ち多様なアプローチで高等教育全体を効果的に省察できるようになること
- 大学教員の役割、仕事を理解し、展望を持ってキャリア構築を設計できること
- 教育活動に関する基礎的知識を身につけ、自分なりの言葉で教育観を語るようになること
- 異分野の研究や教育文化を知ること
- 異分野、新任教員、シニア教員など多様な教員との協働を経験すること

3. 活動内容

目標を達成するために、参加者は次の活動をします。

- 仕事を理解する (講義)
- 基礎知識を得る (ワークショップ)
- 先達から学ぶ (授業参観)
- 自己省察力を養う (リフレクティブ・ジャーナル)

具体的な活動は以下の通りです。

(A) PFFP ワークショップ(オリエンテーション)

PFFP へようこそ

概要

2016 年度東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku U. PFFP)の参加者の顔合わせです。自己紹介、プログラムの説明、大学教員の仕事と専門性(講義)、リフレクションについて(講義)、比較の目を育てる(ワークショップ)、事務手続き等を行います。参加者はこれらの活動を通じて、お互いのことを知り、これからの活動にむけての準備を始めます。

内容

- PFFP の目的に関する講義

- 大学教員の役割と大学教育に関するブレインストーミング
- 比較の視点を育てるワークショップ
- 課題とリフレクティブ・ジャーナルの説明

日程 2016年7月16日(土) 10:00~17:30

(B) 基礎知識を得る(必修)

大学の授業を設計する:授業デザインとシラバス作成

概要

あなたは何を基準にして、どのような手順で授業を設計していますか？本ワークショップでは、大学の授業における目標、活動、評価や授業設計について、シラバス作成を通して考えます。参加者は事前にシラバスを作成し、提出します。

内容

- 「授業の全体を構想しシラバスに表現する」ワークショップ

日程 2016年8月25日(木)13:00~17:00

* 受講が難しい場合、ISTUを通じて配信するので、動画を視聴してください。

授業づくり:準備と運営

概要

学習者が集中し、十分に理解できるような授業をつくるためには何に留意し、どのような準備をして、いかに授業を展開すると良いのでしょうか。一回の講義形式の授業を念頭において学びます。

内容

- 理解の認知プロセス
- 知識の活性化
- メンタルモデルの構築
- 気持ちのコントロール

日程 2016年9月14日(水)13:00~15:00

* 受講が難しい場合、ISTUを通じて配信するので、動画を視聴してください。

本当のかしこさとは何か—感情知性と大学教育—

概要

大学教育では専門知識を身につけるために、「理論的」であることが重視され、「感情」は排除されてきましたが、豊かな感情を育てることは柔軟な思考力を育てるうえで重要な課題であることが明らかになってきました。感情知性と大学教育について学びます。

内容

- 知能指数と感情知性(予定)

日程 2016年10月のいずれか一日、午後

* 受講が難しい場合、ISTUを通じて配信するので、動画を視聴してください。

(C) 先達から学ぶ

授業を見る聞く学ぶ:授業参観

概要

教育経験の豊富な教員の授業を参観し、自分の教育活動を考えるヒントを得ます。授業終了後の検討会では、授業内の教育活動や授業前の準備などについて授業実践者より学びます。

内容

- 実授業の参観(3件以上)
- 授業者とのディスカッション, 質疑応答

日程 2016年7月~2017年1月

(D) 自己省察力を養う

リフレクティブ・ジャーナルの執筆

概要

プログラムで経験したことを通して、大学教員という仕事や大学教育に関する考え方がどのように発展していったのかをリフレクティブ・ジャーナルに記録し、自分なりの教育観を構築します。

内容

- 各セミナー, ワークショップ受講後にリフレクティブに実践をふり返って記録する

日程 プログラム実施期間中随時